

**瑞山会会報** 第36号

平成13年12月10日発行

編集発行 / 名古屋市立大学経済学部同窓会・瑞山会編集部  
名古屋市瑞穂区山の畑1 (名古屋市立大学経済学部内)

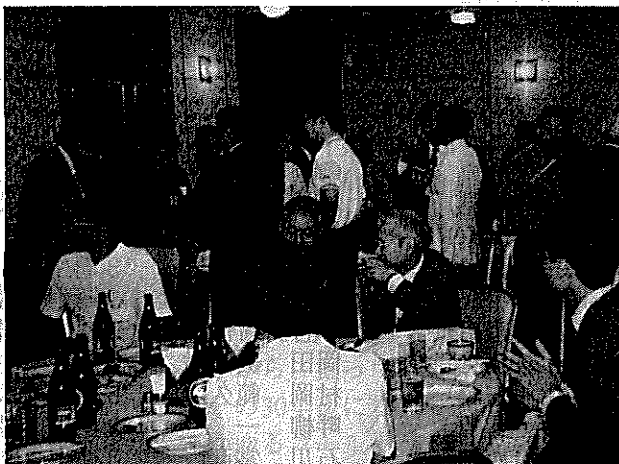
## 平成13年度瑞山会通常総会開催される



代議員会・総会



青山光子先生による講演会



なごやかな懇親会



豪華景品?の当たる抽選会

さる8月25日(土)、名古屋市中村区名鉄グランドホテルにて平成13年度通常総会が開催されました。総会では開会の挨拶の後、全員で物故者黙とうを行い、続いて事業報告および新年度事業計画、平成12年度決算および平成13年度予算案の報告が前田会長よりなされました。松原監事による監査報告がなされた後、質疑応答を経て審議事項は承認されました。引き続き本年は名古屋市立大学名誉教授青山光子先生による特別講演(講演要旨は3~4ページに掲載)が約一時間に亘っており、最後に懇親会が行われ閉会しました。

●平成12年度決算報告

第23期 貸借対照表

(平成13年3月31日現在) (単位 円)

借方	金額	貸方	金額
普通預金・現金	5,618,060		
中国ファンド	5,967,145		
貸付信託	6,560,000	運営基金積立金	20,125,568
金銭信託	1,980,363	(うち当期剰余金)	(1,803,450)
合計	20,125,568	合計	20,125,568

第23期 収支計算書

(自 平成12年4月1日 至 平成13年3月31日)

(収入の部) (単位 円)

勘定科目	予算額(A)	実績額(B)	差額(B)-(A)
会費収入 (新入会費)	4,000,000	4,260,000	260,000
各部預金利息	5,000	3,897	△1,103
運営基金利息	50,000	43,418	△6,582
名簿売上	0	0	0
補助金収入	0	100,000	100,000
収入計	4,055,000	4,407,315	352,315

(支出の部) (単位 円)

勘定科目	予算額(A)	実績額(B)	差額(B)-(A)
名簿追録発行費	50,000	0	△50,000
会報発行費	1,500,000	1,379,419	△120,581
総会費	500,000	260,112	△239,888
事務費	300,000	198,681	△101,319
通信費	200,000	55,795	△144,205
事業運営費	950,000	609,858	△340,142
積立金	150,000	0	△150,000
50周年記念 寄付金	0	300,000	300,000
積立金取崩益	0	△300,000	△300,000
日中学術交流	100,000	100,000	0
予備費	305,000	0	△305,000
支出計	4,055,000	2,603,865	△1,451,135
当期剰余金	0	1,803,450	1,803,450
合計	4,055,000	4,407,315	352,315

●平成13年度予算案

第24期 収支計算書

(自 平成13年4月1日 至 平成14年3月31日)

(収入の部) (単位 円)

勘定科目	予算額(A)	前年実績額(B)	差額(A)-(B)
会費収入 (新入会費)	4,180,000	4,260,000	△80,000
各部預金利息	5,000	3,897	1,103
運営基金利息	50,000	43,418	6,582
名簿売上	0	0	0
補助金収入	0	100,000	△100,000
収入計	4,235,000	4,407,315	△172,315

(注) 新入会費予算額は平成13年入金確認分

(支出の部) (単位 円)

勘定科目	予算額(A)	前年実績額(B)	差額(B)-(A)
名簿追録発行費	50,000	0	△50,000
会報発行費	1,500,000	1,379,419	△120,581
総会費	500,000	260,112	△239,888
事務費	300,000	198,681	△101,319
通信費	200,000	55,795	△144,205
事業運営費	950,000	609,858	△340,142
日中学術交流	0	100,000	100,000
予備費	735,000	0	△735,000
支出計	4,235,000	2,603,865	△1,631,135
当期剰余金	0	1,803,450	1,803,450
合計	4,235,000	4,407,315	172,315

(注1) 新卒業生に対する名簿追録発行費用

(注2) 会報2回発行費用

(注3) 市大広報発送費用を含む

(注4) 新支部補助金、OB表彰制度 等

2001年度役員名簿

理事

- 会長  
前田 勝昭 1期生 (岡崎)
- 副会長  
八木 得三 5期生 (山本)  
多和田 眞 4期生 (岡崎)  
佐藤 克己 8期生 (岡崎)
- 庶務部長  
伊藤 孝 6期生 (山本)
- 副庶務部長  
渡辺 尚泰 3期生 (柴田)
- 庶務部  
浅井 和良 1期生 (静岡)  
近藤 常夫 1期生 (平田)  
小笠原 幸生 6期生 (中居)  
荒深 美和子 9期生 (木村)  
倉地 弘美 14期生 (松永)  
木村 剛 17期生 (辻)  
吉田 和男 20期生 (國村)
- 編集部長  
榊原 茂 1期生 (松永)
- 副編集部長  
服部 篤典 18期生 (安藤)

●編集部

- 伊藤 幸雄 5期生 (妙見)
- 鈴木 正彦 7期生 (芝原)
- 田中 喜夫 7期生 (岡崎)
- 寺沢 賢治 11期生 (牛嶋)
- 水野 誠 13期生 (宮川)
- 松川 倫典 16期生 (塩見)
- 湯浅 伸庸 18期生 (安藤)
- 鈴木 正 19期生 (星野)
- 中村 英利 20期生 (西田)
- 石川 勇治 21期生 (上村)
- 柴田 光晴 22期生 (神山)
- 家田 嘉人 26期生 (星野)
- 高山 浩之 26期生 (國村)
- 西 理恵 26期生 (國村)
- 清水 綾子 30期生 (多和田)
- 杉田 明子 30期生 (安藤)
- 奥村 光輝 31期生 (多和田)
- 西脇 桂 33期生 (安藤)
- 時國 均 33期生 (森田)
- 松尾 裕次 34期生 (森田)
- 事業部長  
逸見 和弘 1期生 (松永)

●副事業部長

- 杉浦 晴義 5期生 (松永)
- 事業部  
都島 忠比古 3期生 (山本)  
浅岡 邦康 3期生 (傍島)  
木村 新作 5期生 (岩橋)  
岡田 美津雄 10期生 (中居)  
村岡 範久 15期生 (松井)  
畔柳 一 19期生 (星野)  
石川 常彦 23期生 (國村)
- 名簿部長  
中村 正治 5期生 (木村)
- 副名簿部長  
児島 完二 22期生 (妙見)  
橋本 光生 18期生 (醍醐)
- 会計部長  
坂野 修 2期生 (山本)
- 副会計部長  
児島 和世 22期生 (國村)
- 監事  
栗野 泰次 1期生 (大山)  
松原 隆二 4期生 (中居)

平成13年度瑞山会総会 特別講演会

## 「アラスカ最北端の街 バロー」

演者 名古屋市立大学名誉教授 青山光子氏

皆様こんにちは、いつも瑞山会の総会にお招き頂きましてそういう時は喜んで出かけるんですが、今日はお話しを、ということでたいへん足が重かったんですが、暑い時ですので、気軽に聴いていただきたいと思います。で、スライドがありますが、その前に少しどういう目的で何をしに行ったのか、それからその結果とかそんなようなお話しをさせていただいて、時間がありましたらスライドを見ていただこうと考えておりますので宜しくお願ひします。

私がアラスカに行きましたのは4年くらい前です。多分この中にも行かれた方はあると思います。オーロラを見に行ったとか、それから野生動物のデナリ自然公園があるとか、よく皆さんご存じですね。でもこの一番北に在るバローの街にわざわざ行かれた方はいないんじゃないかと思ひます。なぜ私がそこへ行くことになったかといひますと、あるグループへお話しに行った時、アラスカの原住民がアザラシを食べていて非常に健康にいいんだというお話しをしたんです。そうしましたら、ある女性が「先生、アザラシを食べたことがあるんですか?」と言われたんですね。写真では見たことあるんですが、食べたことは無かったので「ありません。」と言ひましたが、何となく悔しい思ひがして、では実際アザラシを食べているところへ行ってみようということで、急に思ひついてバローというところへ行ってきました。

このアラスカっていうのは数千年前から遊牧民が生活していたという所なんです。130年程前はロシアの植民地であり、その後アメリカが買ひ取った。ウイリアム・スオードという副大統領が720万ドルでアラスカを買ったんです。ところが国民は喜ぶかと思つたら、巨大な冷蔵庫を買っちゃった、あんなもの何になるのかとさんざん笑ったんです。なぜかと言ひますと地下2メートルは全部氷になっていますから、掘って木の枠を付けると冷凍庫になる訳です。その30年後になんとあそこに金鉱があることが判り、いわゆるゴールドラッシュになり、バローとかその周辺の街もたいへん賑やかになりました。私は犬が好きなのでちょっと面白いアニメを見たんですけれども、実は丁度その頃、ジフテリアが流行しました。ところが治療の為のワクチンは大きな街に行かないと無いということで、船も飛行機も列車も猛吹雪で全然駄目。そこで犬ぞり隊が作られ、1300キロの所を往復することとなりました。その犬ぞり隊の隊長になった犬が実はオオカミとハスキーとの混血です。非常に力強い犬で、その犬がリーダーになってどんどん運んできて、沢山の子供達、いまちようど私くらいの年齢の人達が救われました。というので今ニューヨークのセントラ

ルパークにその犬の像が建っています。それから暫くして今度は石油が採れるようになり、今はパイプラインがずっとメキシコ湾の方まで行くというようなことで、非常に豊かにはなったわけですね。でも原住民の人達はホントに素朴で、昔エスキモーとか言ひましたね。なぜかと言ひますとエスキモーというのは生肉を食べる人ということだそうですが、今はそのような言葉は余り使わないんです。それでバローの原住民は6,000人位で、アザラシの肉を食べるから非常に健康にいいということがアメリカの雑誌に少し前に出ました。どういうことかと言ひますと、デンマークの人が例えば糖尿病の死亡率が40だとすると、このグリーンランドとかアラスカ等に住んでいる人は大体1、つまり40対1で、心筋梗塞は10対1というふうに、いわゆる生活習慣病の死亡率がアラスカの人達の間では大変低いということが言われたんですね。

それでアザラシを食べるから健康にいいんだという事が広まりました。なぜいいのかと言ひますと、そこにはいろいろ原因があります。例えば、アザラシとかセイウチとかクジラとか大体同じですが、海の中に小魚がおりますね。その小魚は何を食べているかと言ひますとクロレラやプランクトン、海草類の様なものを食べて生活している。その小魚をまた少し大きな魚が食べ、そしてもう一つ大きい魚がそれを食べるといった食物連鎖ですが、大きい魚ほどいい成分がたくさん含まれた物を食べている訳ですね。ではどういう成分が含まれているかと言ひますと、不飽和脂肪酸と言ひまして動物の中でも牛とか豚には飽和脂肪酸というのが多いが、この不飽和脂肪酸はそのような魚類に含まれているというわけで、EPAとかDHAと言ひられています。それぞれエイコサペンタエン酸、ドコサヘキサエン酸という名前の頭文字を取ってそう呼んでおりま



北極海を背にする青山先生

す。それがそういった生き物の中に多く含まれていて、とても健康にいいということなんです。例えばEPA、DHAもそうなんですけれども、EPAは血液の中の血小板というのがあります、これが怪我をしたりしたときに出て来て、血液を固まらせる役目をしているんですね。その血小板のトロポキサンというの余り作らせないようにするというのがEPAの役割。血液を固まらせないようにするというのですから、要するに脳梗塞や心筋梗塞等に非常にいい訳です。脳梗塞や高血圧も予防できるとか更に喘息とか花粉症のようなアレルギーにも効果があるとされています。またDHAも大体同じような作用を持っているんですが、特に脳の活性に役立つということですから、老化防止に非常にいいというようなことがある訳です。

では私たちアザラシ食べればいいのかということですが、アザラシが食べる魚を食べればいいのかということになる訳です。それらはサンマ、イワシそれからサバ、その他ブリ、カツオ、マグロあるいはウナギ等、身近にある魚類に不飽和脂肪酸が多く含まれているということがわかっています。カツオの血あいや目玉にも沢山含まれています。それで煮ても焼いても構いませんが、長く空気に触れさせると活性酸素の影響で酸化してしまいます。そうすると過酸化脂質というものができてこれが癌にも関係があると言われていますので、なるべく魚は新鮮なものを食べ、空気に触れさせない、では干物はどうかと言いますと、干すと空気に触れますので何日も干した干物などはかえってよくありません、と言われていました。

それで私は、そういう事をいろいろ知りましたので、本当にバローでそういうものが食べられているのか知りたくてわざわざ一人で行った訳です。アンカレッジから飛行機で2時間、7月でしたが気温が零度以下で、海は凍っていて所々海水が見えるという状態でした。そこでまずサミュエル・シモンズ記念病院へ行きました。内科医のペドロ・ベレッツさんという方にお話を聞いたわけです。まず、原住民の人達は本当にアザラシを食べるのかと。そうしたら確かに食べます、アザラシもクジラも撃って食べることを政府から許されている、と言われていました。で、健康に非常にいいと聞いていますが本当でしょうか、と聞いたところ、確かにそうだと。中年以後の人達は生で、塩も砂糖、香辛料も使わない。その為歯もしっかりしているし血圧も正常だということでした。それはアザラシ等の不飽和脂肪酸の影響ですかと聞きましたら、事実そうですと言われていました。その後で、ただ今の若い人は違います。130年前からアメリカになりましたから他の地方からいろんな食品が届き、10代の人にはハンバーガーとかフライドチキン等のアメリカ食をしている。だからそういう人達は10代で虫歯だらけ、歯はがたがたで、高血圧や肥満体の人もいるということ、やはり同じ地域でも生活習慣が変わるとこんなにも違うのかと恐ろしい感じがしました。その先生達も一生懸命健康作りを奨励している訳ですが、やはり昔の砂糖や塩を



バローの街のお祭りで、住民に鯨の肉を分配する為、切り分けている様子

沢山使わない生活が非常に良かったという事になる訳です。それで私はやっと自分が聞いたことが事実だったと納得いたしました。

ではこの地域ではどんな死亡が多いんですかと聞きましたら、1位が癌、それも胃とか大腸の癌ということだったんですね。やはりそういうものは多い。それから2位は交通事故死なんですね。なぜだろうと思いましたが、実はゴールドラッシュと同時にアルコールがどんどん入ってきてそのためにその地域の人達もアルコールを飲むようになりました。しかし原住民の人達はアルコールを分解する酵素が少ない為、飲んですぐアル中になってしまい、自殺も交通事故も多いという様なことを嘆いてみえたんですね。それで数年前からバローとその周辺ではアルコールを売ることは禁止されているんです。それはもう徹底しておりまして、スーパーでも売っていませんし、レストランでワインもありません。もしバローへ行かれるのであればこっそり缶ビールもお持ちになったらよろしいかと思えます。まあそんなことで健康を守っているんだなあと思いました。このようにアザラシそしてクジラも非常にいい成分が含まれている、不飽和脂肪酸がしっかり含まれているということで、いいということがわかった訳ですね。で、私スライドを撮ってきたんですが、とても下手でお見せできるものではないんですが、説明しながら見ていただきたいと思えます。

(省略)

ということで私は一応脳梗塞とか心筋梗塞に非常にいいということを知ってきた訳なんです、最近によく「ドロドロの血液がサラサラになる法」とかいろんな本が出ております。どういうことかと言いますと、今の不飽和脂肪酸も含まれておりますがEPA、DHAその他いろいろな食品が血液をサラサラにするのに非常に効果がある、今非常に日本人も脳の血管とか心臓の血管に関係する病気が多いということで、それを予防するためには血液をサラサラにしようということが盛んに言われている訳ですね。例えばどういう食べ物がいいとか、何十種類のこういう物を食べるといいとかよく言われますけれども、できればやはり色々な野菜を採って、蛋白質も適度に採って栄養のバランス、いい物を採ることが一番大切ではないかと思えます。時間が来た様でございます。どうもありがとうございました。

新しい時代を創る人と人とをつなぐ

## ネオ・キャリア・ネットワーク Vol.11

水野文雄さん [4期・松永ゼミ] 54歳

&lt; 日本航空株式会社 貨物カンパニー運送サポートグループ マネージャー &gt;

編集部 [○] 水野さんは、卒業以来、70年代から、家族と共に30年間東京で生活していらっしゃいますね。60年代の終わり、学生当時の名市大の様子からお聞きしたいのですが。

水野 [■] 僕は、1967年に名市大に入学した4期生です。1年生から4年生まで初めて揃った年で、卒業生も就職者もない新設の学部でした。当事は、木造校舎が残っていて、旧制八高の名残がありました。2年生の時に、現在の校舎が新築されたんです。僕は松永助教授のゼミで、国際金融論を学びました。先生は、当時固定相場制1ドル=360円でしたが、著書で「1ドル=100円が妥当」なんて、いち早く書いてました。卒業の1971年3月は、大阪万博の翌年で、景気も良く、多くの学生が大企業に就職しました。国際金融論といっても「国際」の方に関心のあった僕は、銀行ではなく商社志向でしたが、英語力を活かせる日本航空に入社したんです。地上勤務で一時期、教育研修事業の仕事に就いた以外は、ずっと貨物セクションでした。

○名刺のロゴは「JAL CARGO」ですものね。最近、フェデックスのコマーシャルで、航空貨物の小口宅配の存在も知りましたが、JALと聞くと、やはり「ジャルパック」、つまり旅客サービスの方が強くイメージされますね。

■そうですね、JAL内の売上構成比は、旅客80、貨物20という割合ですからね。

○貨物輸送の営業現場というのは、どんなふうですか？ 航空貨物は、船の貨物との競合になるわけですか？

■そうですね。大陸間の大量貨物輸送というのは、船で運ぶのが基本です。各企業や、日通などの貨物代理店に、「日本航空の航空貨物輸送がニーズに合いますよ」という営業をするんです。国際線では、苛烈なコスト競争があって、大変でしたよ。国内線は、規制で守られている時代でしたけどね。フェデックスは、ドアtoドアで、付加価値の高い小口宅配を強みにしている会社ですが、我々の競合というのは、大手航空会社の貨物セクションです。顧客である大手メーカーは、ドアtoドアではなく、エアポートtoエアポートで、より安い我々を利用します。大口貨物なのに、細やかな対応で無理も利くというのが、「JAL CARGO」の強みです。運送コストのメリットを優先するアメリカの大口貨物航空会社は、契約やルール以

外のことは、大ざっぱですからね。

○この30年間に、航空輸送は何を運んだのか。日本経済の流れと絡めてお話しくたさいますか。

■航空貨物の歴史は、運ぶものの高付加価値化、ハイテク化の歴史と関連します。僕が就職した当時、日本は、テレビやステレオ等の箱モノを輸出していました。また納期が時間的に間に合わない小口の商品など、海運貨物の上澄みの部分が航空貨物に流れてくる構造でした。それが昨今の物流革命で、トヨタのカンバン方式のように「在庫を持たない経営」の概念が一般化し、「多少高くても、スピードアップ、正確さなど、トータルマネジメントで競争力に繋がればOK」という状況になっています。船便は1週間から10日掛かりますが、飛行機なら翌日到着ですからね。航空運賃に耐えられるほど、運ぶものの商品価値が高くなってきたというわけです。半導体チップが飛行機に乗り、国際分業する世界中の工場を行ったり来たりして、基板、機器に姿を変えていく訳です。当時の船内は、湿度や温度、衝撃が過酷な状況で、IT等の精密機器は海上輸送にそぐわないのですから。

○今や最新のチップも半年で無価値になりますから、「時間=製品価値」の時代を実感しますね。

■70年代後半からの日本製のVTR世界攻勢は、航空貨物輸送の一つの転機でした。当時の世界の工場が日本でしたから、航空機で運ぶ日本製VTRが、世界市場を席卷したんです。今日のテレビゲーム機のような勢いだったと思いますよ。ワールドカップ、オリンピックなどのイベントが、世界中のVTRの需要をまおりました。80年代中頃にパソコンが出るまでは、VTRが航空貨物の主役だったわけです。そういえば、1973-74年のオイルショックの翌年、航空燃料を世界の最も安い地域から最適調達するプロジェクトに関わったというのも、印象深い仕事の一つでしたね。

○80年代はどうでしたか？ 日本一極から、アジア地域の国際分業に移行した時代でしたが。

■それまでの右肩上がりの貿易構造時代が、86年の円高で、様相が一変します。輸出の伸びが鈍化し、代わりにすごい勢いで入ってきたのは、何と食品でした。チーズ、マグロ等です。不足の補完ではなく、円高なので、海外で大量に買って航空貨物で運んでも、なお安かったのです。高級、鮮度を優先する食品の輸入ビジネスが興隆します。一方、パソコンは、日本製からNIE S諸国からの輸入品に逆転しました。日本を経由しない三国間

貿易も、JALとして旺盛に取り組みました。アメリカは、日本より一足速く製造業の産業空洞化を体験したため、そのサポーターであるアメリカの航空貨物ビジネス各社は、熾烈な競争を経験して、大変に強くなっています。彼らとの競争や連携で、僕のキャリアも磨かれたように思っています。

○運んだもので、現代を象徴するようなものはありましたか？

■馬肉ですかね。馬肉鍋は松本の郷土料理なんですけど、今ではカナダのバンクーバーやアイスランドから輸入しています。日本での馬肉生産は、まったくコストに合わないんです。レタスってのも、ありましたよ。もちろん、海運でもチルド冷凍運送だって確立しているわけですが、スピードを求めて航空貨物で運んだんです。大手ハンバーガーチェーンの食材世界調達を見ても、プレカット・真空パックされたレタスや、牛肉パテ、パンズまで航空便で運ぶことがあります。店の厨房には、包丁は無いでしょう。調理の生ゴミすら出ません。在庫は持たず、品切れタブー。だから、季節はずれのレタスはコスト的に合うわけです。他には、イチゴが面白かった。イチゴのショートケーキというのはケーキ屋の定番で、1年中ありますよね。イチゴは本来旬がありますから、世界中から補完調達しなければいけません。ケーキ屋の生命線だから、航空便を使うことで高くても売れるんですね。顧客は、季節はずれに伴う「不足」や「機会」や「時間」を買うわけです。それに、レタスやイチゴ一つとっても、日本人は、味・色・キズなど、品質チェックは厳しいですからね。

○なるほど、輸送の品質管理さえ徹底できれば、航空輸送を利用するんですね。1年中、同じ品質の商品を必要とするような社会全体の標準化が進むから、航空貨物の需要も拡大したとも言えますね。

■生鮮食品の需要は、季節、時間の補完ですから、需要がフレキシブルで不安定なんです。一方、ナチュラルチーズは、年間を通じて需要も大きく、付加価値もあり、航空貨物向け商材でした。かつて、コンピュータ関連は、チップ、半導体製造装置共に、年間を通じて安定的

に動くものなのでいい商材でしたが、今や製品のライフサイクルも短く、さらに今はIT不況ですから、すっかり扱ひ量が鈍くなっていますね。

○いよいよ中国でのパソコン生産がスタートしますが、ますます、日本はコンピュータの生産国としても、消費国としても、世界経済の機軸から外れて行くような出来事が多いですね。中国の影響力は大きいですか。

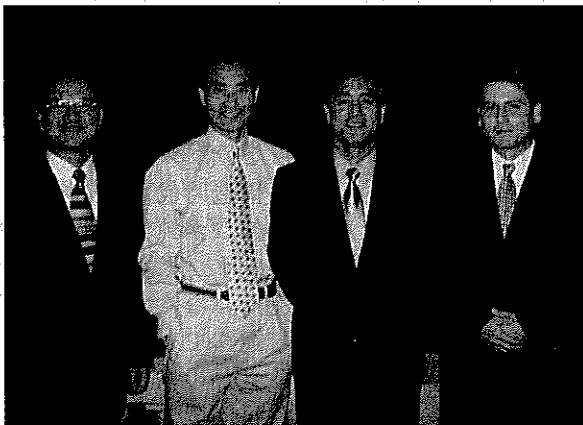
■近年の中国製品の輸出攻勢はすごいですね。ネギ、シイタケだけではありません。日本の優秀な品質管理技術者が数多く、製品の生産から輸送まで、現地指導しています。限りなく「日本品質」に近づいています。中国出張に行った時に買った天津甘栗の値段が、1/10だったのが印象的でした。最近ではコンビニで皮むきされた甘栗のバック菓子が売られていますが、その価格差が、そのまま日中貿易間格差を感じさせてくれます。

○ところで、今回の米国同時多発テロの影響はいかがですか？

■IT不況とのダブルパンチで、その影響は大きいですね。IT不況に関しては、東南アジアの国々は、国際分業で生産こそしますが、コンピュータの消費国ではないですから、不況になると、国単位でリストラ、企業も資金も撤退してしまいますからね。我々は、需要が減っても飛行機は飛ばさなければいけない。飛行機を飛ばさないと言うことは、利益がでないということですから、稼働率を上げる事を考えなくてはなりません。需要のある分野に資源を集中したいが、経済の国際化とは、同時不況を伝播しやすい状況でもあるんです。70~80年代の経済なら、好調な経済圏に移行したり、好調な産業分野、好調な法人顧客の開拓をするなど、大変でしたが改善の方法はいろいろありました。しかし、今は、ITが好調だと世界がIT一色になり、IT不況となると世界が同時に不況になります。米国テロの場合も、米国経済のマイナスが、世界経済に伝播しました。さらに、テロの国際化となると、現在のように標準化していくグローバル・スタンダードな一極化する世界というのは、実に弱いものかもしれませんね。多様なものを交歓し合う文明としての国際化こそ必要なんです。国際化と一極化とは、必ずしもセットではないということです。そういう国際化する世界への思いもあって、国際金融論を専攻したり、JALに入社したりしたんですけどね。

○「国際化」に関わる仕事というのは、まさに人間にしかできない仕事だと感じました。

■僕が苦勞したのは、自己表現をはじめとする「表現する力」を身につけることでした。外国語で話す、読む、書くというのは方法です。それを活用して、どんな目的を実現できるのかという能力が問われます。僕が就職した頃は、不言実行、寡黙が美德のような教育を受けた時代でしたが、仕事では自己主張が求められました。ディベートの文化を持つ欧米のビジネスマンとの交渉では、「自己主張は相手を傷つける、だから、察してください



左から二人目が水野さん

よ」というのはまったく通じません。交渉や調整に失敗したり、また、要求は通しても、信頼関係が壊れるような、怒りの感情を引き起こしては、外国語を使う意味がありません。ビジネスの現場は、異文化との衝突の現場ですね。ますます多様に、国際化は進みますから、相手との文化の違い、コンテキストの違いの理解を前提に、さらに異文化に触れ、タフに折衝する力が必要な時代です。

○日本は世界と、文化衝突に触れずに、何事もなく、経済だけで付き合ってきて、順調に発展してきたなど、感心するんですが。

■いえいえ、文化衝突、調整は、日常のビジネスの現場には溢れていましたよ。ビジネスのプロセスでの豊かな体験の記憶は、日本人の寡黙の中に消えたんです。加工貿易立国、通商国際化を果たした戦後日本は、結果としての成功は共有したが、プロセス、方法における人間の知恵、この国の豊かなビジネス体験は、未だに学校教育にも家庭にも紹介されていないと思います。後輩の皆さんには、たった一つのビジネスモデルに世界が一極化、集中していくような国際化ではなく、多様な社会、文化との相互理解、交歓を楽しむ国際化の実現に繋がるような仕事を通じて、キャリアを磨いていただけたら、と思います。時代を支えて行く人材として、世界スケールでご活躍されることをお祈りいたします。

2001年10月21日 J R 船橋駅ビルにて

●取材 湯浅伸庸 [18期] ●構成、編集/会報編集部

## 『瑞山会・関東支部』の設立のお知らせ

○『瑞山会・関東支部』の設立準備をスタートします。

「関東圏に在住される名市大卒業生が、東京で、気軽に集い、語り合えるような機会を創る」ことを目的に、広く瑞山会・関東支部のメンバーを募ります。「無事な再会を喜び合う」「ビジネスを創り出す」「遊び仲間を増やす」など、目的は「何でもあり」です。世代を超えて、ビジネスマンから、主婦の皆さんまで。年次で、ゼミで、負担にならないラフなスタイルで、気楽に集まれるような「会」にしたいと考えています。

○まずは、名簿作りから

『瑞山会・関東支部』の設立準備委員会では、関東圏に在住、ご活躍される方の名簿を作成していきます。まずは、関東支部設立準備委員の前田進 [4期] の住所 [千葉県松戸市六実1-23-15]、メールアドレス [ssmaeda@x.age.ne.jp] まで、関東在住の皆さんのお名前 [旧姓も]、住所、電話、メールアドレス、年次、ゼミ名、職場連絡先 [任意で結構です] などをお知らせください。今後の関東支部のイベント予定等のご案内をさせていただきます。

## 瑞山会ホームページ からのお知らせ

会報35号において、皆様にメールマガジン利用についてのアンケートを実施しました。結果は返信総数117通で、利用すると回答された方・54通、利用しないと回答された方・56通、不明の方・7通となりました。ご協力ありがとうございます。

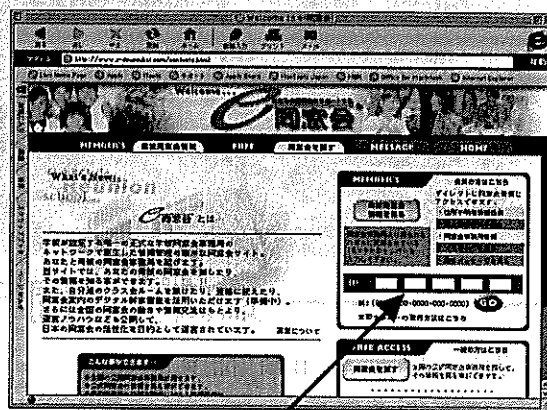
回答をされた方の半数近くは瑞山会メールマガジン発行に関心を寄せられたということで、今後の実現に向けて進めていきたいと考えております。また掲載内容記事に関しまして会員の方からの文芸作品、エッセイ、旅行記、その他各ゼミごとの同窓会情報や諸先生方の近況など色々な文章を募集することを検討しております。執筆に協力していただける方、また各ゼミの同窓会企画を担当していらっしゃる方からのご連絡をお待ちしております。

次に、会報の発行作業や会員名簿の管理、発行事業を契約している(株)廣濟堂では、日本全国の学校(小学校から大学まで)の同窓会のホームページを集めたリンクサイト「e-同窓会」を開いています。このホームページは各同窓会の紹介ページの他、IDナンバーを取得することによってお手持ちのパソコンから皆さんの住所変更などを連絡できるページを開発しています。これで年二回発行の会報に付属する葉書よりも迅速に変更事項を瑞山会が受け取ることができるようになりました。不正ID取得を防ぐためサイト上からは即時取得はできないようになっておりますので、画面上の説明をよくお読みになって御自分のIDを取得して下さい。なお瑞山会ホームページの「名簿部便り」からも「e-同窓会」へリンクをしてあります。

最後に瑞山会ホームページ上でも会員の皆さんからのコンテンツを掲載するページを作成しますので是非ご連絡をお願いします。

お問い合わせ、投稿は

「atstique@rr.iij4u.or.jp 編集部 服部」まで



e-同窓会の画面 ここからIDが取得できます

瑞山会ホームページアドレス

<http://www.asahi-net.or.jp/>

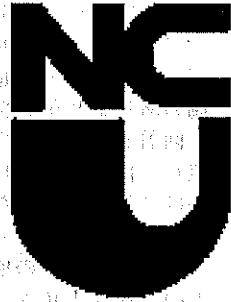
iw3k-kjm/zuizan.html

廣濟堂「e-同窓会」アドレス

<http://www.e-dousoukai.com/>

名市大50周年記念シンボルマーク  
決定する

名古屋市立大学は開学50周年記念行事の一貫として「シンボルマーク」の公募を行いました。10月9日制定したマークを発表しました。学内から応募数22件の中から芸術工学部教授、川崎和男氏のデザインを一部修正した物で、「Nagoya City University」の頭文字から作られています。



—瑞山会名簿の頒布ご案内—

今回発行されます瑞山会名簿には、10月末までに約400冊ほど事前申込をいただきました。予定されている発行数には、まだ余裕があります。名簿は4年に一度しか作成しませんので、この機会を逃すことなく、お申込み・お求め下さい。

なお、名簿の発行から頒布までの業務を廣済堂に業務委託しております。データの確認から申し込みのハガキ案内にて、会員のうち判明率は90%弱（今年度の総会員数6,500名弱の内）となりました。また、今回の発行に便乗した職業別名簿の案内が送られているようですが、瑞山会は一切関係しておりませんのでご注意ください。

名簿代金は送料込みで4,000円です。同封の返信葉書でもお申し込みできます。

お問い合わせは TEL 052-332-6086 前田会計事務所内  
担当 児島まで

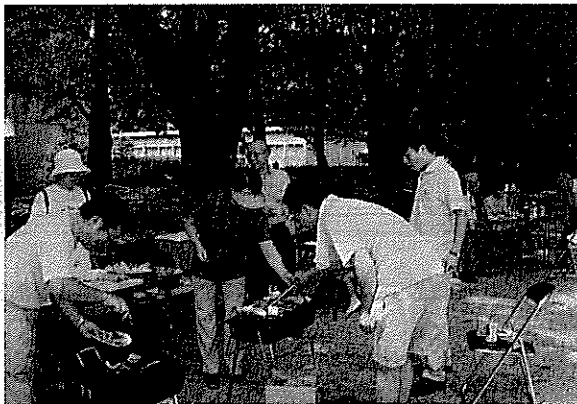
<<< 事業部便り >>>

平成13年9月2日 バーベキュー大会が名市大キャンパス内で行われました。医学部、薬学部の参加に加え人文社会学部のOBにも参加頂きました。有志はその後、更にテニスを楽しんでいました。銀杏を収穫している人もいて天気も最高でまさに食欲の秋、スポーツの秋でした。10月20日には第38回OBゴルフコンペが多度CCにて行われました。雲ひとつない秋晴れの空の下で、和気あいあいとした雰囲気の中でゲームが展開され、14期生の倉地弘美氏が優勝しました。準優勝は伊藤博文氏（2期生）で、3位は山下和男氏（5期生）でした。次回開催は平成14年4月20日を予定していますが場所は未定です。関心のある方は事業部宛てご照会ください。

次回の行事は平成14年4月7日の「山崎川花見散策と茶会」です。卒業すると大学に出かけることも減多にはないと思いますが、花見がてらの薬学部もまた趣があっていいものだと思います。是非お友達あるいはご家族とご一緒にお出かけ下さい。5月3日には第13回硬式テニスの会を開催する予定です。

(事業部長 逸見和弘 TEL 052-914-6221 E-mail hem3@mvj.biglobe.ne.jp)

バーベキュー会でのスナップ



瑞山会年間行事案内 (平成14年)

4月	7日 (日)	山崎川花見と茶会	その他
	20日 (土)	OBゴルフコンペ	8月 通常総会 (兼代議員会)
5月	3日 (祝日)	テニス大会 (硬式) (山の畑キャンパスにて)	年3~4回 理事会
9月	1日 (日)	野外バーベキューの集い (山の畑キャンパスにて)	年2回 (7月・12月) 瑞山会報発行
10月	中旬 (土又は日)	OBゴルフコンペ	

[行事の日程等は変更することがありますのでその都度事業部にご確認ください]

瑞山会ホームページ (<http://www.asahi-net.or.jp/TW3K-KJM/zuizan.html>) にある

催し物案内のページでもご案内しています